

**留学先国名** : カナダ

**留学先学校名** : Mount Allison University

**留学期間** : 平成 27 年 6 月 20 日 ~ 平成 31 年 6 月 1 日

私はカナダにあるマウントアリソン大学で 1 年目の留学生生活を終わりました。留学前はいろいろなことを考え、不安と期待でいっぱいでしたが、今思うと楽しい一年間という期間はあっという間に過ぎてしまいました。二ヶ月間の大学準備コースをハリファックスで経た後に、サックビルのマウントアリソン大学に入学しました。サックビルはとてものどかで、美しい風景が広がる田舎町です。大阪と比べると非常に小さな町で、お店や公共施設は必要最低限しかありません。初めはこの環境に不便さを感じ戸惑いましたが、徐々に慣れていき、逆に勉強するには抜群の場所だと思えてきました。1 年目は、寮に入りました。私が入った寮は小規模でアットホームな感じでした。寮のリーダーたちはとてもフレンドリーで親切にしてくれ、また他の生徒とも打ち解けやすい環境にありました。授業が始まる前の最初の一週間はオリエンテーションがあり、他の一年生や上級生と関わる良い機会でした。チーム制で行うチャリティー活動、ダンスや大学で必要な情報のプレゼンテーションなど様々なイベントが開催されました。他にも、野外での映画鑑賞、ペインティングパーティーなどのイベントに参加しました。これらのアイスブレイクはとても良い出発点になったのですが、同時にインターナショナルの生徒向けのオリエンテーションも含め、2 週間に渡り行われたので最終的には精神的にも体力的にもヘトヘトでした。

学校が始まってからはすごく忙しい日々が続きました。なぜなら、授業の開始と同時に生活に必要なものをたくさん揃えなければならなかったからです。ホームステイ先ではベッドシーツ、食器など揃っていたのですが、寮ではそれらの必需品を一から揃える必要がありました。しかし、サックビルでは必要なものをすべて揃えられないので、私はオンラインショッピングを始めました。しかし、そこでもまた問題が起き、商品が期限を過ぎても届かない、多額の送料を請求されるなどの困難に直面しました。口コミなどをきちんと確認して、安全なサイトかどうか見極め、慎重に買い物する大切さを知りました。

マウントアリソン大学はリベラルアーツ校であり、メジャーやマイナーに関係なく、様々な授業を取れるのが特徴です。大学には高校ではないような科目があり、入学当初はどの分野が自分に向いているのか曖昧でした。しかし、様々な授業を受けていくことによってそれがだんだん鮮明になってきました。政治学を詳しく今まで勉強したことがなかったのですが、大学での授業はとても興味深く、もっと深く学んでいきたいと思いました。一年生の授業では、基本的な政治の仕組みだけでなく、情報を取捨選択する力を身に付けていきました。筆者のバックグラウンドのリサーチや、どういった偏見が隠されているかを見抜く練習をしました。他にも、women and gender studies のクラスでは女性や人種に対するの偏見差別を様々な観点から取り上げ、それについて話し合う形の授業でとても印象的でした。差別をなくすにはその歴史や現在も起きていることに目を向け、それについて考えることが大切だと思いました。

ミールホールという場所があり、基本的には朝・昼・晩三食ともそこで食べるというスタイルでした。サラダバ

ー、ピザ、ベジタリアンメニュー、サンドウィッチコーナー、デザート、スムージーなど種類が豊富で充実していました。白米やたまにお好み焼きなどのメニューもあったので驚きました。席は自由席ですが、寮ごとに食べるが多かったです。いろいろな人と話せる良い時間でした。テスト期間など忙しい時にここでみんなと食べて話すことでリラックスすることができました。

私にはアメリカ人のルームメイトがいました。彼女は真面目でとても親しみやすい子でした。一緒に行動することが多く、すぐに良き親友となりました。しかし、たまにアメリカの友達との長電話が続きました。私が寝たことに気づくと、電気は消してくれるのですが、朝の3時や5時まで電話が続くことがありました。私はついには我慢ができなくなり、ルームメイトに夜の長電話でよく眠れないことを伝えました。すると、その日から夜中まで電話が続くことはなくなりました。ただ思っているだけではなく、きちんと伝えて話し合うことが大切だと思いました。一年の終わりに、寮でバンケットが開催され、私たちは“Cutest Roommate Award”を受賞しました。賞を受け取った時はとてもうれしかったし、寮生活が終わったこれからも友情は続いていくのだと思いました。ルームメイトはとても良き理解者で、いろいろな面で支えてくれたことに感謝しています。

留学生活で一番辛かったと言ってよいのはテスト期間だと思います。自分も周りもストレスが溜まり、さらに寝不足が続き心も体も限界でした。テストの1、2週間前ぐらいからコーヒーを片手に寮と図書館を往復する日々が続きました。普段は空いている大学の図書館の地下から3階まである机と席がほとんど埋まってしまう程です。今までの内容を理解し、覚えることは容易なことではなく息が詰まりそうです。しかし、そんな中私は夕食後友達と近くの公園を散歩しました。自然の中を歩きながら話し、笑い合うことはとても良い気分転換になりました。一日中図書館に籠っているよりも、15分ぐらい歩き、リフレッシュすることはとても効率が良いと気づきました。それに関連して、私はTime Management（時間管理）の大切さを学びました。大学の中には様々なタイプの人があります。毎週金曜の夜も大学の図書館で勉強する人もいれば、木曜日から日曜日までパーティーに明け暮れる人もいます。そのような環境の中で、自分はどちらになりたいのか自分自身で選択していくことが大切です。何に重きを置くのかは人それぞれですが、私はバランスが大切だと考えました。もちろん勉強を最優先に考えていますが、金曜日の夜は友達と映画を見たり、パーティーにも行ったりもします。勉強と社会的活動を大切にしたい今年はアルバイトやクラブ活動など犠牲にした部分もあります。来年はまた違ったバランスを探す必要があると考えています。寮を出るので、食事の準備などに時間をかける必要性が出てきます。その反面、勉強の仕方など一年生で学んだことを生かせるので、去年よりも効率良く勉強できると思います。その他にも、今年はクラブ活動に参加してボランティア活動などに携わってみたいです。最後に、カナダに留学でき、素晴らしい人々と出会えた機会にとっても感謝しています。留学に行く直前はこんな遠くに決めなければ良かったと慣れ親しんだ土地を離れる寂しさと不安で後悔したことがありましたが、今では行って良かったと言い切れます。寂しさや不安はありますが、それらを乗り越えていくことは自分を強くしてくれます。また、日本でしっかりと準備することはとても役立ちます。私の場合、留学前に勉強したIELTSが大学の授業にとっても有効的でした。1年間の留学生活を通して、様々なことを見聞きし、自分自身で選択、判断してきました。残りの3年間も充実した日々を過ごし、四年後に満足できるように努力していきたいです。